



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

一宮ライオンズクラブ

国際会長スローガン 「ウィ・サーブ」

一宮LCスローガン 「伝統に感謝 新たな未来へ ウィ・サーブ」

第1501回例会

2018~2019

No.20

CN記念例会

例会プログラム

とき 2019年4月24日(水)18:00
ところ 犬山ホテル
例会担当 LCIF・国際関係・YCE委員会

開会のゴング
国旗に礼
国歌「君が代」斉唱
「ライオンズ・ヒム」斉唱
「ライオンズの誓い」唱和
「クラブスローガン」唱和
会長挨拶
永年会員表彰
各委員会報告
幹事報告
アテンダンス報告
テールツイスター報告
閉会のゴング

懇親会

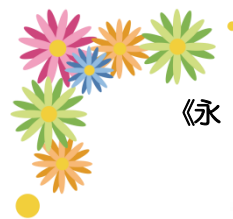
開宴の挨拶
乾杯
アトラクション
「また会う日まで」斉唱
ライオンズローア
閉宴の挨拶

次の理事会(第21回)

とき 2019年5月8日(水)11:00
ところ 一心

次の例会(第1502回)

とき 2019年5月8日(水)12:15
ところ 一心



《永年会員(50年)》



L佐藤正剛
(1969年2月入会)



アトラクション

☆荒瀬真葵 22歳 (ヴァイオリン)
京都市立京都堀川音楽高校
愛知県立芸術大学・音楽学部 器楽専攻4年
大学でソロや室内楽を学びながら、名古屋を中心にミュージカルや演劇など舞台でのヴァイオリン演奏の活動を多く行っています。

☆内藤杏菜 20歳 (声楽)
大阪府立夕陽丘高等学校音楽科
愛知県立芸術大学・音楽学部 声楽専攻3年
中学2年生から声楽をはじめました。

☆橋本由羽 20歳 (ピアノ)
大阪府立夕陽丘高等学校
愛知県立芸術大学・ピアノ専攻3年
ロシアの作曲家が好きで、ロシアに興味があります。

☆白井早百合 20歳 (ピアノ)
京都市立京都堀川音楽高校
愛知県立芸術大学・音楽学部 ピアノ専攻3年
5歳よりピアノをはじめ、現在、大学でソロや伴奏を学びながら、演奏の活動を行っています。



第 19 回理事会報告

と き 2019年4月10日(水)11:30

ところ ザ・グランドティアラー宮

出席者

L 五藤 L 伊藤 L 佐藤(彰) L 小川 L 野寄
L 高橋 L 野村(政) L 佐藤(正) L 西尾 L 中沢
L 坂本 L 田中(幸) L 石黒 L 青山 L 山中
L 大山 L 杉山 L 御子柴 L 立川 L 久保

議題

1. 地区シェアリング交付金を活用しての地区小児がんセミナー (3/15) 報告

幹事 L 野寄章より

名古屋小児がん基金理事長小島勢二様より「名古屋小児がん基金の目指すところ」をテーマに講話を受けた。

2. 糖尿病予防セミナー「みんなで知ろうよ糖尿病という病気」(3/31) 報告

五献副委員長 L 浅野俊幸より

セミナーの内容及び感想を報告。糖尿病は、薬で治すのではなく食事及び運動で直し、最後に薬という手順が最適という報告。

3. クラブ第一副会長セミナー (4/2) 報告

第1副会長 L 佐藤彰より

次期 ZC、次期会長等多数の参加者と一緒に3時間講義を受け、それ以後懇親会に移行しましたと報告。

4. 真清田神社 桃花祭 (4/3) 報告

会長 L 五藤一樹より

当日は天候に恵まれ祭自体は良かった。しかし、本年度は選挙のためか例年より人手が少なかったような気がしましたと報告。

5. はしご車・ポンプ車寄贈式 (4/9) 報告

会長 L 五藤一樹より

当日は11時より市長室で中野市長様と会談し、そのまま木曾川消防署に移りはしご車とポンプ車2台の寄贈式を行いました。スリランカでは、40mのはしご車は初めてとの報告。

6. 財務委員会 (4/10) 報告

財務委員長 L 杉山幸紀夫より

決算書を審議中のため次回報告。

7. 次期クラブスローガン募集・役員・委員会構成(案)について (4/15)

第1副会長 L 佐藤彰より

次期のテーマは「チャレンジ」のためテーマに沿ったスローガンを募集しますと報告。

8. その他

- ① 豊田ルネッサンスLC「チャリティゴルフ大会」(4/15)
- ② 第77回6LC合同親睦ゴルフ大会(4/18)
- ③ ともい き宇宙の子ともたちボウリング大会(4/20)
ボウリング大会 11:00～ アソビックスびさい。
懇親会 魚辻 18:30～。
- ④ 第65回地区年次大会(4/21)
- ⑤ 一宮市国際交流協会理事会(4/22)
- ⑥ 江南LC結成60周年記念大会(4/27)
- ⑦ 真清田神社舞楽神事(4/29)
- ⑧ 海部LC結成50周年記念大会(5/14)
- ⑨ 一宮東LC結成40周年記念式典(5/21)
- ⑩ 第65回複合地区年次大会 IN 富山(5/26)
会長、幹事、会計、L 大山、L 佐藤彰、L 山中、L 青山の計7名で参加予定。
- ⑪ 第4回3Rガバナー諮問委員会(6/7)
場所 ホテルキャッスルプラザ
リジョン会議 登録受付 14:30～
会議 14:45～15:45
ガバナー諮問委員会受付登録 15:30～15:55
会議 16:00～17:45 懇親会 18:00～20:00
- ⑫ 次期クラブ会長・幹事・会計セミナー(5/20)
場所 ホテルナゴヤキャッスル
受付 11:30～12:45
全体会議 13:00～14:45
各セミナー 15:00～16:45

第1500回例会アテンダンス報告

会員数 214名 家族会員 113名

例会出席対象会員数 101名

出席者 53名 (メーク・アップ 0名)

出席率 53%

フローリスト
はなしん

こころにとどく
花キュービット
一宮市今伊勢町本神戸中道13の2
TEL0586-72-8624
FAX0586-72-8861
L 平光昌彦

古川測量登記事務所

一宮市松降一丁目8番地4号

TEL (0586) 26-2255

L 古川竜生

第 1500 回例会報告

と き 2019年4月10日(水)12:15
 ところ ザ・グランドティアラー一宮



本日の例会は、花見例会としてグランドティアラー一宮にて行われました。
 今回の例会が『第1500回』という事でその数字に一宮ライオンズクラブの歴史、伝統を非常に感じました。
 開会のゴング、国旗に礼、国歌斉唱、ライオンズクラブの歌斉唱、クラブスローガン唱和をし、会長の挨拶では、自身の会社の名前の由来についてのお話がなされ、名前の『一樹』に『人』が集まり『大樹』となったエピソードに皆が感心している様子でした。また今年もスリランカへ、はしご車の寄贈が出来ましたとの報告があり、感謝の気持ちを述べられました。
 その後幹事報告では、次期役員構成案が出され、拍手をもって承認されました。

お客様に元参議院議員 大樹総研首席研究員の安井美沙子様をお迎えし、『今さら聞けない国政の話』と題しましてどうして国政を目指したのか、また実際に参議院時代の中にいたからこそこの話や自身の提案も交え、非常に分かりやすいお話をしていただきました。二院制の意味、議員数について、選挙の時期についてなど、改めて考える事が出来、非常に貴重なお話をいただけただけかとは思いました。



その後アテンド報告、テールツイスター報告、また会う日まで斉唱、とプログラムは進み先日ゴルフでホールインワンを達成されたL杉山幸紀夫によるライオンズローアで締めくくられ、皆の笑顔で今回の例会は終了しました。
 例会担当 親睦委員長 高橋 敬



消防車贈呈式報告

と き 2019年4月9日(火)11:00
 ところ 一宮市役所市長室・木曾川消防署



消防車1台とはしご車1台、合計2台の贈呈式が一宮市役所特別会議室にて11:00より行われました。
 一宮市役所市長室にてたくさん関係者が見守る中、中野市長より一宮 LC 五藤一樹会長に目録が贈呈されました。
 その後、12:30より木曾川消防に於いて、一宮 LC よりスリランカへ寄贈する消防車・はしご車の贈呈式を行いました。おかげさまで晴天に恵まれ、五藤一樹会長より「蘭花の会」会長ルール ティラカラタネ氏に目録が贈呈され、無事終了致しました。

今年も消防車・40M はしご車を寄贈することが出来た為、ルール氏から「非常に助かります」というお礼の言葉と共にとても感謝して頂きました。

- (出席者)
 L 五藤・L 野寄・L 野村(政)・L 岡崎・L 大山・L 中川
 L 山中・L 土本・L 岡本



2019年(平成31年)4月10日(水曜日) 中日新聞社 2019 (日刊)

はしご車と消防車 スリランカへ贈る 一宮市が感謝受け

「一宮市のライオンズクラブ(LC)は、昨日、スリランカへ消防車とはしご車を寄贈する意向を正式に発表し、消防署長や市議員らに受け渡しの手配を進め、今後は同国を支援する活動を展開する」と発表した。

同LCは、〇八年度の国務大臣として同国へ寄贈を依頼し、二台は市が購入し、一宮市は寄贈費用を補助している。これは、一宮市が初めて実施する活動で、消防署長や市議員らに受け渡しの手配を進め、今後は同国を支援する活動を展開する」と発表した。

市役所で行った贈呈式では、同LCの五藤樹会長(左)が、中野正市長から目録を受け取り、「クラブの柱となる事業、今後同国を支援していく」と激励した。ルール氏は「これは、一宮市民一人ひとりが応援していることだ」と感謝した。

十八日以上の雨は、使用に支障をきたす可能性があるため、雨の降らないと見込まれる中、十九日(水)の夜、消防署で贈呈式が行われる。同LCは、一宮市に寄贈する消防車は、同LCの五藤樹会長(左)が、中野正市長から目録を受け取り、「クラブの柱となる事業、今後同国を支援していく」と激励した。ルール氏は「これは、一宮市民一人ひとりが応援していることだ」と感謝した。

中日新聞社
 名古屋市中区五丁目番地1号
 〒460-0811 電話 052-221-8811
 2019年(平成31年)4月10日(水)
 駅弁の日

一般社団法人名古屋小児がん基金

寄贈式報告

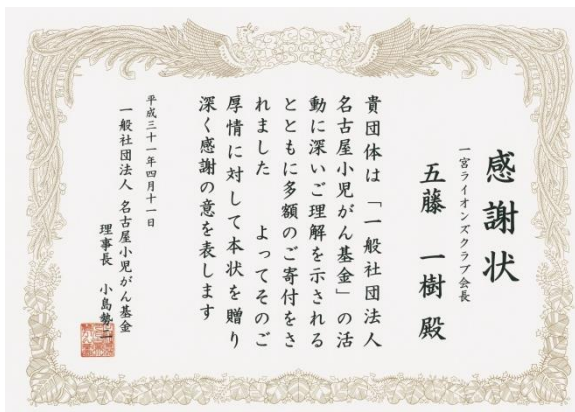
と き 2019年4月11日(木) 16:00
 ところ 一宮商工会議所ビル4階 401



先月3月15日(金)に開催された『3R合同アクティビティ小児がん支援チャリティゴルフ』で集まった寄付金の贈呈式が、11クラブの会長、幹事、プロジェクトメンバーが見守る中行われました。寄付金額は957,000円です。

一般社団法人名古屋小児がん基金理事長の小島勢二様より、「小児がん基金の目指すものとして、診断法や治療法を安価にする。保険適用が無い薬剤を必要とする子供に使う。発展途上国における小児がん患者の支援をするなど、この多くの寄付金を大切にに使わせて頂きます」とお礼の言葉を頂き、各クラブへ感謝状が手渡されました。

小島様は名大病院をご退職後、一般社団法人名古屋小児がん基金を設立され、小児がんの治療向上を目指し活動されています。



第77回6LC親睦ゴルフ大会

と き 2019年4月18日(木)
 ところ レイクグリーンゴルフ倶楽部

今年も334-A地区3R1Zの合同事業として、第77回6LC親睦ゴルフ大会が開催されました。汗ばむ陽気の中、6つのクラブから総勢67名が集まりました。一宮LCからは28名が参加し、他クラブとの親睦を深めながら、楽しくプレーを楽しむ事が出来ました。

その後成績発表が行われ、個人の部ではL伊藤裕彦が優勝、また団体の部では一宮LCが今年もダントツの優勝を飾りました。

ホストクラブ会長より、この親睦ゴルフコンペも第77回と、回数を重ねてきましたが、クラブ数やメンバーの減少により年々参加人数が少なくなっているため、またこれから盛り上げて行く為にも、それぞれのクラブで盛り上げていただき、今後につなげていく事が重要だとのお話がありました。この大会は他クラブとの交流を深める良い機会ですし、是非これからも続けていって欲しいと思いました。その為にも会員数を増やす努力の必要を強く感じました。

また一宮LCの第3回親睦ゴルフ大会も兼ねておりましたので、表彰式終了後、順位の発表が行われました。今回もまた、クラブのメンバーの懇親をより一層深める大会となったと思います。ご参加いただいた皆様、本当に有難うございました。 親睦委員長 高橋 敬

◎個人

〈みさのコース〉		G	H	NET
優勝	L伊藤 裕彦 (一宮LC)	80	8.4	71.6
2位	L橋詰 和良 (一宮LC)	80	8.4	71.6
3位	L宮田 昭一 (一宮LC)	98	25.2	72.8
4位	L大山 恭範 (一宮LC)	82	8.4	73.6
5位	L田中 秀雄 (一宮LC)	99	25.2	73.8

◎団体

〈レイクコース〉			〈みさのコース〉		
優勝	稲 沢 LC	379.4	優勝	一 宮 LC	363.4
2位	一宮サウス LC	384.6	2位	稲沢緑 LC	389.2
3位	一宮東 LC	385.4	3位	一宮中 LC	-



第3回一宮LC親睦ゴルフ大会

と き 2019年4月18日(木)
 ところ レイクグリーンゴルフ倶楽部

第3回親睦ゴルフコンペは、優勝L土本 和佳 準優勝はL池田 利昭でした。
 おめでとうございます！皆様お疲れ様でした。

【成績】		G	H	NET
優勝	L土本和佳	85	25	60
2位	L池田利昭	84	18	66
3位	L野寄 章	103	36	67
4位	L山中一史	97	28	69
5位	L杉山幸紀夫	99	28	71
10位	L伊藤裕彦	80	4	76
15位	L上野秀寿	106	25	81
19位(会費)	L宮田昭一	98	11	87
20位	L長田 太	97	10	87
25位	L児山 司	125	30	95
B・B	L野村政司	108	10	98
B・M	L高橋 敬	137	30	107



ともき・宇宙の子ども達とのボウリング大会

と き 2019年4月20日(土)11:00
 ところ アソビックスびさい

今年もアソビックスびさいにて、親睦ボウリング大会併催という形で行われました。

五藤会長の挨拶の後、始球式が終わると一斉にゲームスタートとなりました。各レーンからは一球毎に子供たちの笑い声や歓声が上がり、ハイタッチする姿など子ども達とメンバーで盛り上がった楽しいゲームとなりました。

終了後は食事会場に移動して昼食となりました。両施設長さんからお礼の言葉をいただき、子ども達にはハンバーガーセットを先生達とメンバーには弁当が用意され、一緒にゲームをした子ども達と同じテーブルで楽しい食事タイムとなりました。

最後にお土産のお菓子を渡して終了となりました。いつまでもバスの中から手を振ってくれる子ども達の笑顔が印象に残りました。

夜は懇親会と表彰式を魚辻で行われ、おいしい料理とお酒をいただきました。結果は以下の通りでした。ご参加いただいたメンバーの皆様ありがとうございました。

青少年教育委員長 御子柴 孝明

(成績)		トータル
優勝	L久保 辰也	303
2位	L吉田 日人	294
3位	L佐藤 彰	293
4位	L志賀 龍司	292
5位	L小川 康則	283

(参加者)

L五藤、L青山、L伊藤、L岩田、L大山、L小川、L尾上、L久保、L佐藤(彰)、L佐藤(克)、L志賀、L杉山、L高橋、L田中(秀)、L西尾、L古川、L御子柴、L山中、L吉江、L吉田(日)



第1500回例会ドネーション・ファイブ

合計 87,000

◎ドネーション		87,000
L 五藤一樹	スリランカへ40Mはしご車寄贈 新入会員・安井美紗子様お迎えできた	20,000
L 野寄 章	〃	10,000
L 杉山幸紀夫	法仙坊カントリー倶楽部で ホールインワン達成	20,000
L 石川英明	一宮警察署から感謝状頂いた 中日新聞にも掲載された	10,000
L 大島八重子	テールツイスターL 石川英明が隣 にいらっしゃいますから・・・	3,000
L 神谷 圭	会場利用お礼	3,000
4月誕生7名	誕生 祝	21,000
◎ファイブ		0
ドネーション・ファイブ累計		1,629,100

活動するライオンズ

東日本大震災の被災地で女性たちの支援に取り組む

岩手県・陸中宮古ライオンズクラブ

#災害



宮古市は岩手県中東部、江戸時代に南部藩の外港となって以来、長崎貿易の輸出品であった水産物「俵物(たわらもの)」向けの積み出し港や、江戸と北海道松前を結ぶ東廻海運の中継港として栄えた。その後も、世界有数の漁場である三陸沖を背景に水産都市として発展。また三陸復興国立公園の中心的存在である名勝・浄土ヶ浜など海、山、川の恵まれた自然環境を有し、本州最東端の町として観光にも力を入れている。

2011年3月11日の東日本大震災では8.5mを超える津波が市街地をのみ込み、517人の方が亡くなった。更に建物被害は住家が約4500棟、非住家が約4600棟で、全体で約9100棟が被災。しかも被災した住家の6割以上が全壊で、多くの人々が貴重な財産を失った。

三陸復興国立公園の中心的存在である名勝・浄土ヶ浜震災当時、宮古市には宮古岩手、陸中宮古、田老の三つのライオンズクラブがあった。宮古岩手ライオンズクラブでは会員の半数、陸中宮古ライオンズクラブでは3人が被災。両クラブの合同事務局は宮古湾に注ぐ閉伊川(へいがわ)の河口から約1kmの場所にあり、川をさかのぼった津波により備品や資料など全てを失った。

もう一つの田老ライオンズクラブ(震災前会員数15人)は更に深刻で、奉仕地域の田老地区は宮古市で最も大きな被害を受けていた。「万里の長城」と呼ばれた国内最大級の防潮堤をもってしても大津波は防げず、市街地は壊滅状態。田老ライオンズクラブは津波で会員の佐々木正明さんを失い、他の会員たちもほとんどが被災。クラブ事務局を置いていたふるさと田老物産センターは跡形もなく流された。クラブは地区などの支援を受け、何とか存続を決めたが、会員の半数が退会の意思を示す中、震災から2年後の13年に解散。結成以来43年間、田老地区にともし続けてきた奉仕の灯りが消えることとなった。

東日本大震災に対しては、日本はもとより世界中のライオンズクラブが支援活動を展開。発災直後の緊急支援物資提供から、中長期的な事業に至るまで、被災地のニーズを把握しながら支援を継続してきた。そんな中、陸中宮古ライオンズクラブは14年1月に、被災者支援に特化したクラブ支部(陽だまり支部)を結成。復興支援NPOの関係者らが会員として参加した。その一つ「輝きの和」は、仮設住宅などに引きこもりがちになっていた家庭の主婦らを支援しようと、陸中宮古ライオンズクラブの須賀原チエ子元会長らが立ち上げ、被災者が自立していくための手芸品作りなどを行っていた。

ライオンズクラブの支援により開設された「みやこ体験広場」のショールームその後、陸中宮古ライオンズクラブは、輝きの和の活動をベースに、被災者支援のための「みやこ体験広場」をオープン。開設資金はライオンズクラブ国際財団(LCIF)の東日本大震災指定交付金900万円と島根県・浜田亀山ライオンズクラブからの援助150万円、自己資金30万円余で賄った。広場には新旧合わせて4棟のユニットハウスを設置。中心となる手創工房「輝きの和」では裂き織り(緋紗織)や着物のリメイク品などを作り、それを陳列するショールームも設けた。

みやこ体験広場には、東北地方のライオンズクラブが買い物ツアーや工房の見学ツアーを実施したり、裂き織りの材料となる古着の提供に協力したりしている。また宮古市には震災後毎年、東京のライオンズクラブ会員有志により日本一の大熊手が奉納されている。これは「三陸の復興に役立てたい」と、浅草西の市発祥の寺・長國寺の井桁鳳雄(いげたこうゆう)住職(東京浅草ライオンズクラブ)の発案で実現したもの。大熊手奉納場所の一つ宮古市魚菜市場は、三陸沖から水揚げされた新鮮な魚介類や水産加工品、地元農家が作った野菜がずらりと並ぶ宮古市民の台所。今年1月から場内の改修工事に入り、現在は一時休業中だが、昨年暮れまでは市場の一角に「輝きの和」の販売コーナーも設けられていた。



「被災者支援は震災以来継続して行っていますが、同時に子育ての支援も始まっています。これらは、みやこ体験広場という拠点があったればこそ実現出来たことです。カタログも、以前に広場を訪問してくださった山形県・鶴岡ライオンズクラブの伴和香子元地区ガバナーからの提案ですし、ライオンズクラブの支援のおかげで今日があると感謝しています。被災地は一見、復興が進んだように見えますが、経済の落ち込みは大きく、今後ますます大変になると思います。これからも変わらぬご支援をお願い致します」と、陸中宮古ライオンズクラブの須賀原元会長は話している。